

## 第6回 喀痰吸引等研修（第一号・二号） 研修計画書

## 研修の目的

平成24年度から施行された社会福祉士及び介護福祉士法に基づく介護職員等による喀痰吸引等の実施の制度化に伴い、一定の条件の下に、適切に喀痰吸引等の行為を実施できる介護職員を養成する。

## 研修課程

基本研修【講義50時間＋筆記試験＋演習】＋実地研修

回	日時	科目	講師	会場	
1	10/9 (水)	9:00～9:50	開講オリエンテーション	継続学習センター長 池谷 恭子	継続学習センター
		10:00～11:30	1.5 【人間と社会】 個人の尊厳と自立 医療の倫理 利用者や家族の気持ちの理解	在宅診療科 医師 藤島 正雄	
		12:30～14:30	2 【保健医療制度とチーム医療】 保健医療に関する制度 医行為に関する制度 チーム医療と介護職との連携		
		14:40～16:40	2 【安全な療養生活①】 たんの吸引や経管栄養の安全な実施		
2	10/11 (金)	8:30～11:40	3 【健康状態の把握】 身体・維持の健康 健康状態を知る項目 急変状態について	救命救急センター 救急認定看護師 奥脇 和男	継続学習センター
		12:20～14:20	2 【安全な療養生活②】 救急蘇生法		
		14:30～17:00	2.5 【清潔保持と感染予防】 感染予防 職員の感染予防 療養環境の清潔・消毒法 滅菌と消毒	地域感染症疫学・予防センター 永井 友香	
3	10/16 (水)	8:30～12:00	3.5 【高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論①】 呼吸のしくみとはたらき いつもと違う呼吸状態 たんの吸引とは	在宅診療科 医師 大川 薫	継続学習センター
		13:00～17:00	3 【高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論②】 人工呼吸器と吸引 子どもの吸引について 1 呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）		
4	10/18 (金)	8:30～12:00	0.5 【高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論③】 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 1 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認 2 急変、事故発生時の対応と事前対策	在宅診療科 医師 大川 薫	継続学習センター
		13:00～16:30	3.5 【高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論①】 経管栄養とは 消化器系の仕組みと働き よくある消化器症状 経管栄養の種類と器材 経管栄養の注入物の種類と特徴 経管栄養を実施するにあたり	摂食・嚥下障害認定看護師 石川 千沙	
5	10/23 (水)	8:30～17:30	1 【高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順 解説】 たんの吸引で用いる器具・器材とその仕組み、清潔の保持 5 吸引の技術留意点 1 たんの吸引に伴うケア 1 報告及び記録	脳卒中リハビリテーション認定看護師 滝口 智子	継続学習センター CSSセンター
6	10/26 (土)	8:30～12:30	3 【高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論②】 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 1 子どもの経管栄養	摂食・嚥下障害認定看護師 石川 千沙	継続学習センター
		13:30～16:00	0.5 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 1 経管栄養に関係する感染と予防 1 急変、事故発生時の対応と事前対策		
7	10/29 (火)	8:30～17:30	1 【高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説】 経管栄養で用いる器具・器材とその仕組み 5 経管栄養の手順と留意点 1 経管栄養に必要なケア 1 報告及び記録	摂食・嚥下障害認定看護師 石川 千沙 鈴木 章哲	継続学習センター CSSセンター
8	11/1 (金)	10:00～11:00	【修了試験】 筆記試験（四肢択一式・30問・60分）	継続学習センター長 池谷 恭子	継続学習センター
		11:10～12:00	実習オリエンテーション	安房地域難病相談・支援センター	
9	11/5 (火)	8:30～17:00	【演習】 口腔内の喀痰吸引 5回以上 鼻腔内の喀痰吸引 5回以上 気管カニューレ内の喀痰吸引 5回以上 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 5回以上 経鼻経管栄養 5回以上 救急蘇生法 1回以上	脳卒中リハビリテーション認定看護師 滝口 智子 摂食・嚥下障害認定看護師 石川 千沙 鈴木 章哲	継続学習センター CSSセンター

研修時間数 50 時間 (他 オリエンテーション約2時間 修了試験1時間)